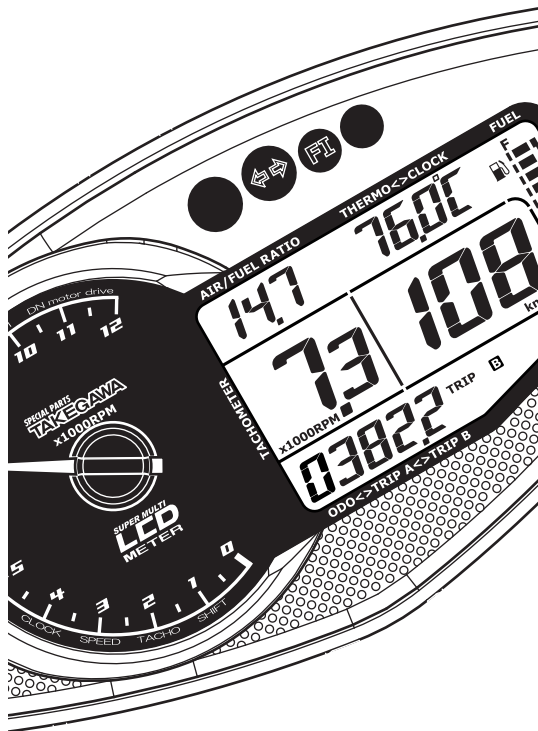


SMLCD V1 KIT for Address V125 instruction manual



ご使用前に必ず説明書をご覧ください。

09-01-0912

スーパーマルチLCDメーターキット

適合車種	型式	フレームNo.
スズキ アドレス V125	UZ125GK7	CF46A-530175~
	UZ125K7	CF46A-530065~
	UZ125GK6	CF46A-500001~
	UZ125K6	CF46A-500001~
	UZ125GK5	CF46A-100001~
	UZ125K5	CF46A-100001~

ウィンター限定車：ZK7=GK7

① まえがき

② ご使用上の注意点

③ キット内容

④ メーター本体の取り付け

⑤ 配線接続

⑤-1 メインハーネス概要

⑤-2 UZ125GK7配線

⑤-3 UZ125K7配線

⑤-4 UZ125GK5/GK6配線

⑤-5 UZ125K5/K6配線

⑤-6 点火信号入力

⑤-7 温度センサー入力

⑤-8 O2センサー入力

⑥ 操作方法

⑥-1 表示と機能の一覧

⑥-2 操作方法

⑥-3 タイヤサイズ変更

裏表紙 **クィックマニュアル**

Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

SPECIAL PARTS TAKEGAWA SUPER MULTI LCD METER V1KIT MANUAL 09-01-0912 091008D

① まえがき

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。



注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
(ケガの原因となります)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります)



警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります)
- ・実走行テストは十分に安全を確保できる見渡しの良い場所で行なって下さい。(貸切サーキット等)
実走行テストは車両にとって、とても過酷な使用状態となります。その為、測定中に車両破損の可能性が非常に高くなります。走行前に車体の各部を良く点検して下さい。小さなトラブルでも、原因が分かりその問題が解決するまで絶対にテストを行わないで下さい。また、走行中にトラブルを感じた場合すぐに安全な場所に停止し、車両を点検して下さい。(事故につながる恐れがあります)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は一切の責任を負いません。

◎クレームについては、商品に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後3ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。ただし交換工費等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

本製品は多機能化の為に配線が純正品よりも大幅に増えます。

その為に完全ボルトオンでは無く、本製品やバイク側加工の必要があり、取り付けにはバイク整備の知識、専用工具、加工工具が必要です。本説明書を一通りご覧になり取り付けに自信の無い方、カスタム初心者の方はプロショップにご依頼下さい。

・外装類の取り外し方法についてメーカー発行のサービスマニュアルが必要になります。

SPECIAL PARTS
TAKEGAWA

株式会社スペシャルパーツ武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

(TEL)0721-25-1357(代) (FAX)0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

② ご使用上の注意点



社外品H.I.D.キットには品質によりバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る製品があり、程度によってはメーター故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。

社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。

◎本製品のボディは樹脂製です。

風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。

▲スクリーン（ウィンドシールド）のレンズ効果による不具合についてのご報告

スクリーンが太陽光をメーター部に集光し、発生した高熱によりメーターの樹脂部を痛めたという報告があります。

スクリーンの曲面形状と太陽の位置の関係による現象の為、夏場の日中など太陽光の強い時期、時間に限られる事ではありません。（不具合報告のあったスクリーンメーカーは1社だけに限りません）

スクリーンを取り外す、駐車場等を考慮する、カバーをかけるなど、防止策を行って下さい。

◎本製品は完全防水ではありません。

防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生する事があります。

使用期間や使用状況により曇り止めが痛み、パネル内面に曇りが発生し易くなります。このような場合、[④メーター本体の取り付け]ページを参照の上、曇り止めを再塗布して下さい。

◎絶対に分解しないで下さい。

分解や改造を行わないで下さい。また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまいます。

◎激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプ、ウィリーなど、メーターに伝わる衝撃がとて強い行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディの損傷の恐れがあります。

◎お手入れについて

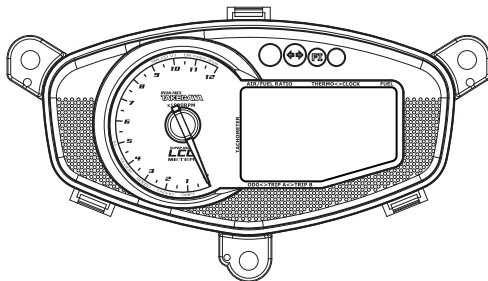
頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。

揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意下さい。

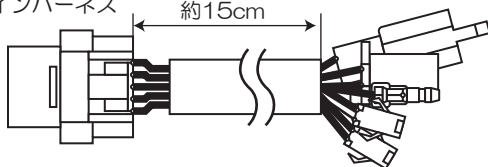
③ キット内容 次ページに続く

※各部品のコード長は前後します。

メーター本体

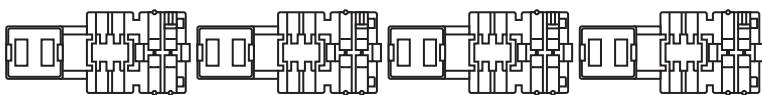


メーターメインハーネス



アドレスV125は年式、モデルによりノーマルメーターの配線が異なります。
付属メインハーネスはUZ125GK7用（Gタイプ '07年式以降）に製作されています。
その他年式についてはサブハーネスを加えて接続します。

エレクトロタップ4個



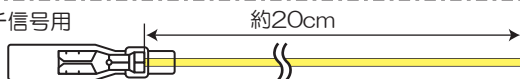
⑤-2 UZ125GK7配線

エレクトロタップの使い方を記載しています。

常時電源用サブコード赤



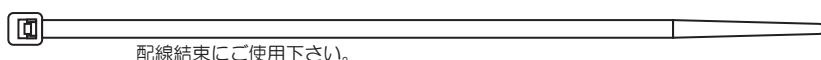
スタートスイッチ信号用
サブコード黄



点火信号用サブコード茶



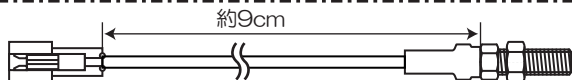
タイラップ



配線結束にご使用下さい。

M5温度センサー

リペアパーツ品番
07-04-0552

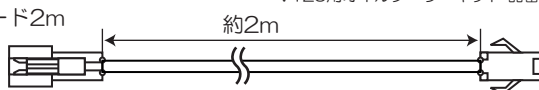


ネジ径: M5
ピッチ: 0.8
長さ: 15mm

温度の測定には別途いずれかの当社製アダプターが必要です。

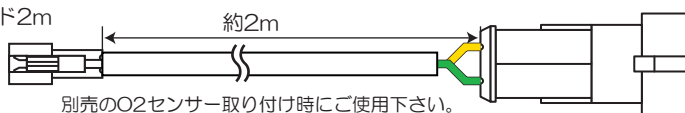
- ・V125用Sステージボアアップシリンダー
- ・ドレンボルトアダプター-C1 (M10XP1.25) 品番: 07-04-0031
- ・V125用オイルクーラーキット 品番: 09-07-5001

温度センサー連結コード2m



O2センサー連結コード2m

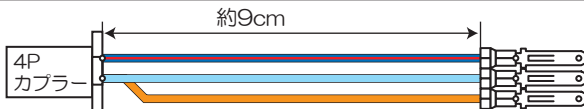
リペアパーツ品番
07-04-0041



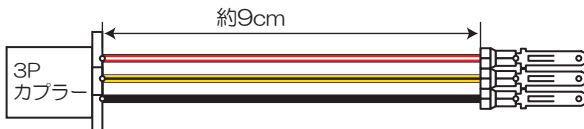
別売のO2センサー取り付け時にご使用下さい。

K7/GK6/K6/GK5/K5モデル用サブハーネス (GK7では使用しません)

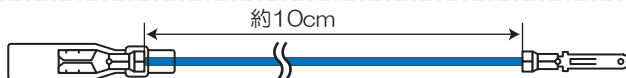
サブハーネスA



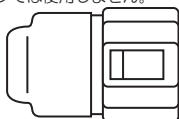
サブハーネスB



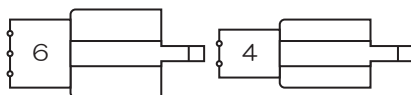
サブハーネスC



バイパスダイオード
Gタイプでは使用しません。



6Pカブラー/4Pカブラー



オスギボシセット

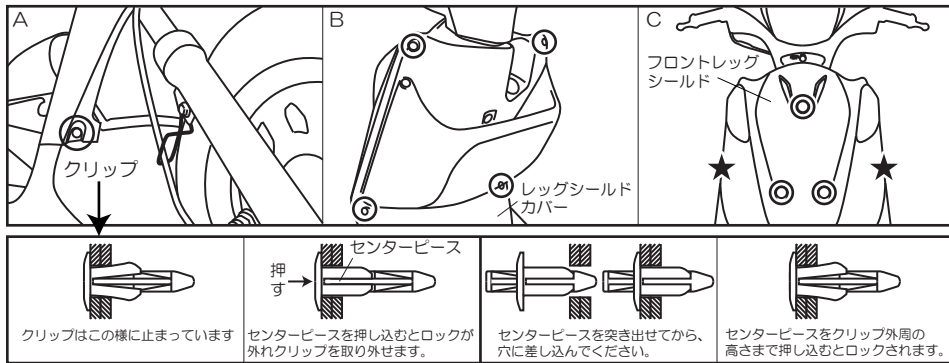


④ メーター本体の取り付け

・フロントレッグシールド・ハンドルバーフロントカバー・ハンドルバーリアカバーを取り外して下さい。
詳しい取り外し方法は、メーカー発行のアドレスV125サービスマニュアルでご確認頂けます。

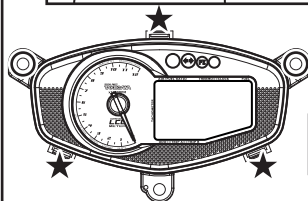
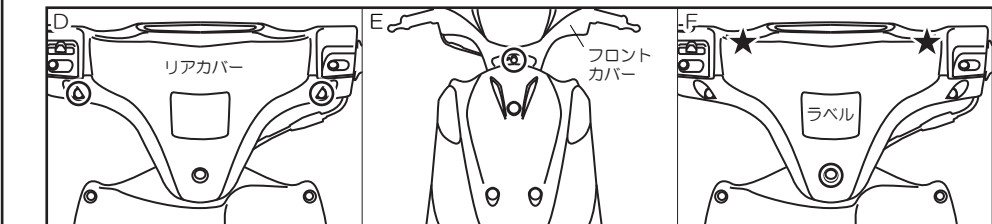
フロントレッグシールドの取り外し

- ①フロントレッグシールド下部[図A]で指しているクリップ左右各1個を外して下さい。
- ②レッグシールドカバー側から[図B]で指しているスクリュー4個を外して下さい。
- ③フロントレッグシールド正面[図C]で指しているスクリュー3個を外して下さい。
- ④これで、フロントレッグシールドを手前に浮かす事が出来ます。[図C]の★マーク付近に引っ掛かりがあります。取り外しにはコツとある程度の力が必要です。割れてしまわない様に注意して下さい。
- ⑤フロントレッグシールドが手前側に浮いたら、左右ウインカーコードのコネクターを外して下さい。



ハンドルバーフロントカバー、ハンドルバーリアカバー、メーターの取り外し

- ①ハンドルバーリアカバー[図D]で指しているスクリュー2個を外して下さい。
- ②ハンドルバーフロントカバーのヘッドライト下[図E]で指しているスクリュー1個を外して下さい。
- ③これで、ハンドルバーフロントカバーを手前に浮かす事が出来ます。フロントカバーとリアカバーの上面継ぎ目に複数の引っ掛かりがあります。取り外しにはコツとある程度の力が必要です。割れてしまわない様に注意して下さい。
- ④ハンドルバーフロントカバーが手前側に浮いたら、ヘッドライトコードのコネクターを外して下さい。
- ⑤[図F]★マークで指している位置にあるハンドルバーリアカバー内側のスクリュー2個と、ラベル下にあるスクリュー1個を外して下さい。
- ⑥これで、ハンドルバーリアカバーを手前に浮かす事が出来ます。メーターケーブルと車体側ハーネスに繋がっている複数のコネクターを外して下さい。
- ⑦ハンドルバーリアカバー内側にある3本のスクリューを外しノーマルメーターを外して下さい。

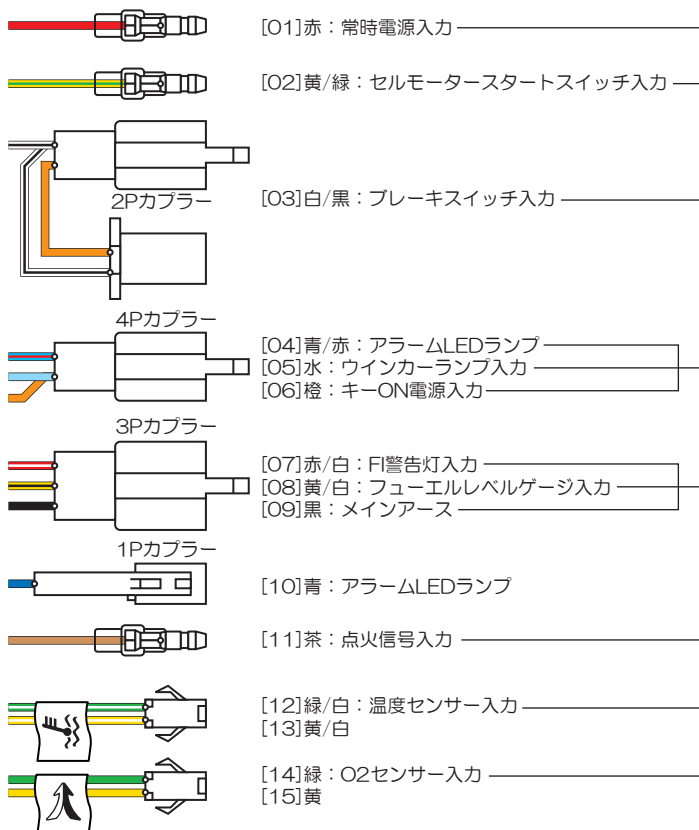


クリアカバーは★マークで指している3つのフックを外すと簡単に取り外し出来ます。傷などで交換する時は純正クリアカバーをご利用頂けます。本製品は出荷時、クリアカバーに曇り止め処理をしていますので、内面をウエスなどで拭かないで下さい。

曇り止めには寿命があります。曇りが発生し易くなった場合は、市販の曇り止めを塗布して下さい。(メガネやゴーグル用で十分な効力があります)

⑤-1から⑤-8の配線接続作業後、逆の手順で再組み付けして下さい。

○メーターケーブルの接続について、ケーブルが差し込み穴の奥まで入った事を確認してから、ケーブルロックナットをプライヤー等でしっかり締め込んで下さい。



アドレスV125は年式、モデルによりノーマルメーターの配線が異なります。
付属メインハーネスはGK7モデル用に製作されています。
その他年式についてはサブハーネスを加えて接続します。

⑤-2 UZ125GK7配線

V125Gタイプ '07年式以降

⑤-3 UZ125K7配線

V125スタンダード '07年式以降

⑤-4 UZ125GK5/GK6配線

V125Gタイプ '06年式以前

⑤-5 UZ125K5/K6配線

V125スタンダード '06年式以前

⑤-6 点火信号入力

タコメーター

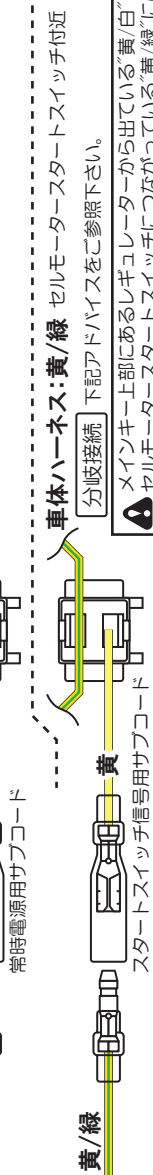
⑤-7 温度センサー入力

温度計

⑤-8 O2センサー入力

空燃比計

No.	配線色	機能	スズキ配線色	No.	SMLCD Wire	Function	SUZUKI Wire
[01]	赤	常時電源入力 (DC12V)	赤	[01]	Red	Anytime DC12V	Red
[02]	黄/緑	スタートスイッチ入力 (ON: GND)	黄/緑	[02]	Yellow/Green	Start-SW Input	Yellow/Green
[03]	白/黒	ブレーキスイッチ入力 (ON: DC12V)	白/黒	[03]	White/Black	Brake-SW Input	White/Black
[04]	青/赤	アラームLEDランプ (プラス側)	青/赤	[04]	Blue/Red	Alarm-LED +	Blue/Red
[05]	空	ウインカーランプ入力 (ON: GND)	空	[05]	Light Blue	Turn Signal Input	Light Blue
[06]	橙	キーON電源入力 (ON: DC12V)	橙	[06]	Orange	Key-on DC12V	Orange
[07]	赤/白	FI警告灯入力 (ON: GND)	青/白又は桃/白	[07]	Red/White	FI Check Light	Blue/White or Pink/White
[08]	黄/黒	フューエルレベルゲージ入力 (抵抗値)	黄/黒	[08]	Yellow/Black	Fuel Signal Input	Yellow/Black
[09]	黒	メインアース (GND)	黒/白	[09]	Black	Main GND	Black/white
[10]	青	アラームLEDランプ (マイナス側)	黒/青	[10]	Blue	Alarm-LED -	Black/Blue
[11]	茶	点火信号入力 (パルス信号)		[11]	Brown	Rpm Signal Input	
[12]	緑/白	温度センサー入力		[12]	Green/White	Heat Signal Input	
[13]	黄/白			[13]	Yellow/White		
[14]	緑	O2センサー入力		[14]	Green	O2sensor Signal Input	
[15]	黄			[15]	Yellow		



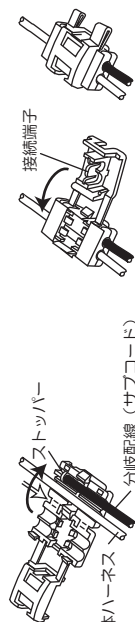
コネクター間に割り込み接続

リアブレーキスイッチ (左レバー) コネクター、スイッチ側

分岐接続についてのアドバース

本製品では、常時電源入力とセルモータースタートスイッチ入力から車体ハーネスと分岐接続する必要があります。接続は付属のエレクトロタップで行うか、市販のギボシを使い行して下さい。ギボシ接続の方が確実性が高く、また整備時の取り外しも容易です。可能であれば、ギボシ接続を推奨致します。

エレクトロタップを使った分岐接続



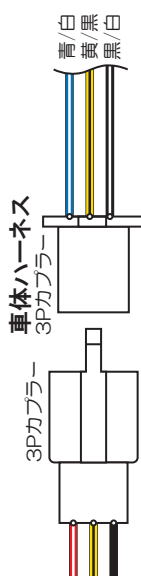
分岐配線をストッパーに当て(=)部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。
次に接続端子がついている方を折り返して下さい。ブライヤーなどでロックするまでしっかりと押さえて下さい。

ギボシを使った分岐接続



車体ハーネスを切断し、図の様にオスギボシとメスギボシを取り付けて下さい。
付属のサブコードにも図の様にオスギボシとメスギボシを取り付けて下さい。
これで車体ハーネスの間にサブコードを割り込みます事が出来ます。

メーターへの接続はありません。



車体ハーネス:赤 メインキーの上部にあるレギュレーターから出ています。
分岐接続 ⑤-2 分岐接続についてのアドバイスをご参照下さい。

車体ハーネス:黄/緑 セルモータースタートスイッチ付近
分岐接続 ⑤-2 分岐接続についてのアドバイスをご参照下さい。

⚠ メインキー上部にあるレギュレーターから出ている“黄/白”とは違います。
セルモータースタートスイッチにつながらっている“黄/緑”に必ず接続して下さい。

リアブレーキスイッチ (左レバー) コネクター、車体ハーネス側

コネクター間に割り込み接続

リアブレーキスイッチ(左レバー)コネクター、スイッチ側

使用しません。

サブハーネスA
[04]青/赤
[05]空
[06]橙

サブハーネスB
[07]赤/白
[08]黄/黒
[09]黒

付属の6Pカブラーに端子を差込んで下さい
[09]黒 [07]赤/白 [06]橙
[08]黄/黒 [05]空 ロック 後部

[04][05][06][07][08][09]端子を図の位置に差込んで下さい。
K7では[04]青/赤を使用しません。
差込み位置にご注意下さい。

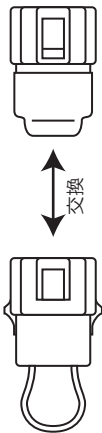
車体ハーネス
6Pカブラー
黒/白 青/白 橙 黄/白 黄/黒
又は 桃白
メーターへの接続はありません。

1Pカブラー
接続無し (流用不可)

フロントレグシールド内、イグニッションスイッチ (メインキー) 及びレギュレーター付近の車体ハーネスに配線テープ巻きで固定されている大きめの黒色2Pコネクターがあります。
図のように配線がUターンしているバイパスコネクターが接続されていますので、巻かれている配線テープを外し本製品付属のバイパスダイオードと交換して下さい。

※K5/K6/K7 (スタンダード) モデルのみ

純正品/バイパスコネクター (黒色)



付属バイパスダイオード

車体ハーネス:赤 メインキーの上部にあるレギュレーターから出ています。
分岐接続 ⑤-2 分岐接続についてのアドバイスをご参照下さい。

常時電源用サブコード

車体ハーネス:黄/緑 セルモータースタートスイッチ付近

分岐接続 ⑤-2 分岐接続についてのアドバイスをご参照下さい。

⚠ メインキー上部にあるレギュレーターから出ている“黄/白”とは違います。
セルモータースタートスイッチにつながらっている“黄/緑”に必ず接続して下さい。

リアブレーキスイッチ (左レバー) コネクター、車体ハーネス側

コネクター間に割り込み接続

車体ハーネス

リアブレーキスイッチ (左レバー) コネクター、スイッチ側

車体ハーネス:空 ウィンカースイッチ付近

分岐接続 ⑤-2 分岐接続についてのアドバイスをご参照下さい。

[05] 空の端子切り取り

サブハーネスA
[04] 青/赤
[06] 橙

サブハーネスB
[07] 赤/白
[08] 黄/黒
[09] 黒

サブハーネスC
[10] 青

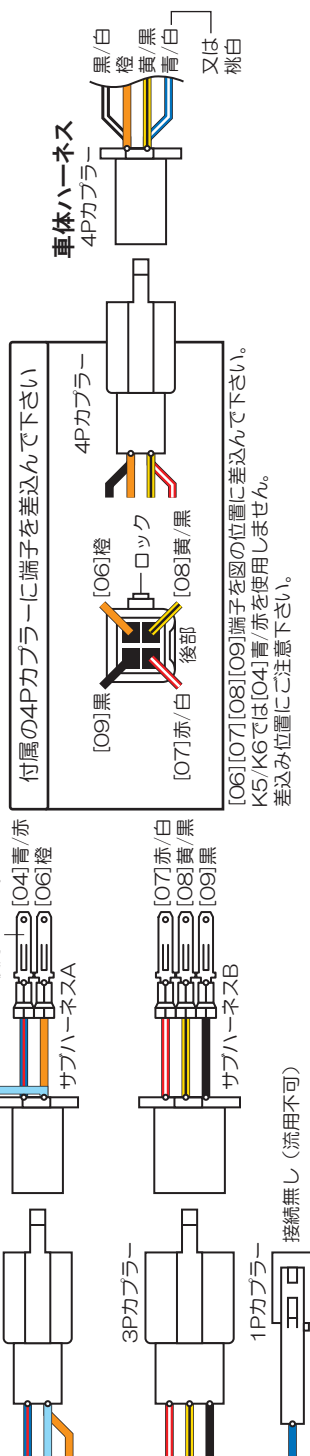
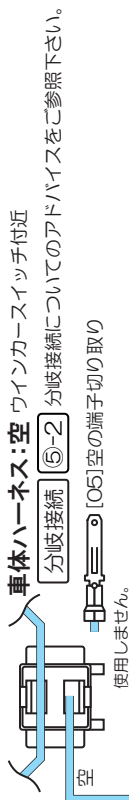
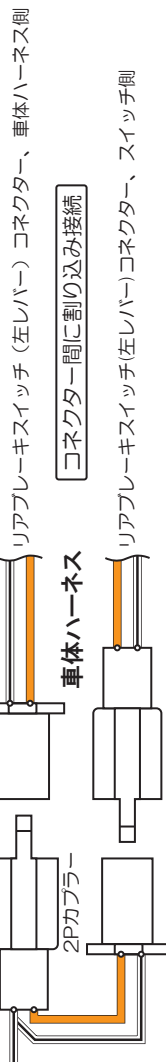
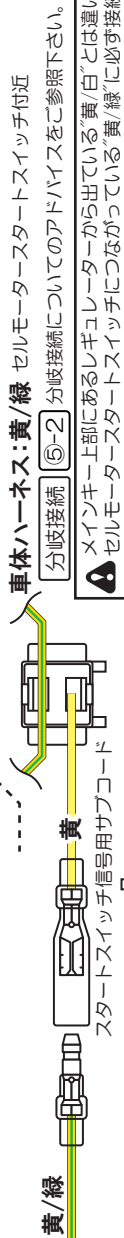
1Pカブラーを切り取り、付属オスキボシを取り付けて下さい。

1Pカブラー切りの取り

付属の6Pカブラーに端子を差込んで下さい
[10] 青 [04] 青/赤 [06] 橙
[09] 黒 [07] 赤/白 後部 [08] 黄/黒
[04] [06] [07] [08] [09] [10] 端子を図の位置に差込んで下さい。
差込み位置にご注意下さい。

車体ハーネス
6Pカブラー

黒/青
青/赤
橙
黄/黒
黒/白
青/白
又は
桃白

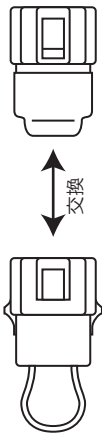


フロントレグシールド内、イグニッションスイッチ（メインキー）及びギョレーター付近の車体ハーネスに配線テープ巻きて固定されている大きな黒色の2Pコネクタがあります。

図のように配線が入っているバイパスコンタクトが接続されていますので、巻かれている配線テープを外し本製品付属のバイパスダイオードと交換して下さい。

※K5/K6/K7 (スタンダード) モデルのみ

純正品バイパスコネクタ- (黒色)



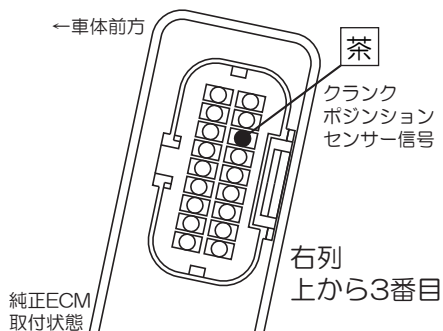
ECMに点火信号用サブコードを接続

フロントレグシールド内にある純正ECMに接続されている配線に点火信号サブコードを接続します。
点火信号用サブコードは、タコメーターを作動させる為に必要な配線です。



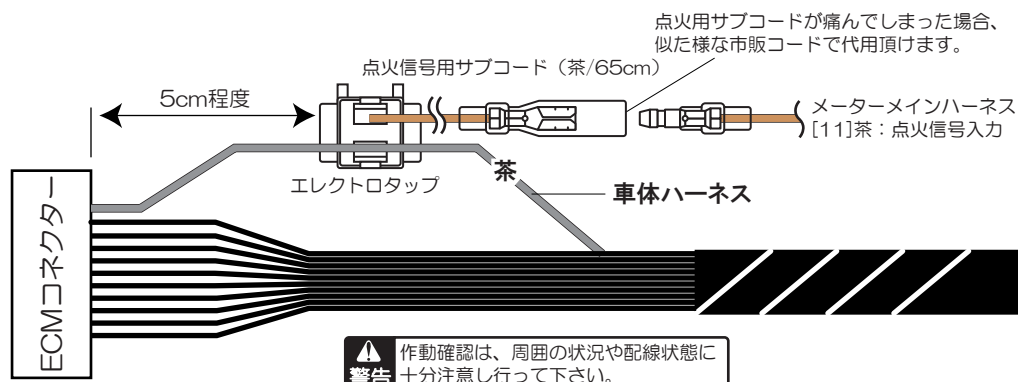
同じ色の配線や色の似ている配線がありますのでご注意ください。

ADJモード発火回数調整設定値を“1”



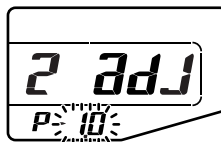
分岐接続 ⑤-2 分岐接続についてのアドバイスをご参照下さい。

※コネクタ側ぎりぎりに接続するのではなく、接触不具合の修理に備えて5cm程度の余裕を持たせて下さい。



ADJモードの発火回数調整で設定値を“1”にして下さい。
設定値が異なるとタコメーターの数値が半分や倍になります。

⑥-2 操作方法 変更、確認の方法を記載しています。



ADJモード
発火回数調整

⑤-7 温度センサーの入力

油温計測を行うには、別途アダプター類のいずれかを用意して頂く必要があります。

アダプターにより、取り付け位置が異なります。配線時は必要に応じ、外装を取り外して下さい。詳しい取り外し方法は、メーカー発行のアドレスV125サービスマニュアルでご確認頂けます。

温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。

●別売アダプター類（すべて付属のM5センサー対応です）

- ・V125用Sステージボアアップシリンダー
- ・ドレンボルトアダプター-C1（M10XP1.25）品番：07-04-0031
- ・V125用オイルクーラーキット 品番：09-07-5001

温度センサー連結コード、温度センサーを接続

ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。下記「稼働部配線についてのアドバイス」を参照下さい。

メーターメインハーネス

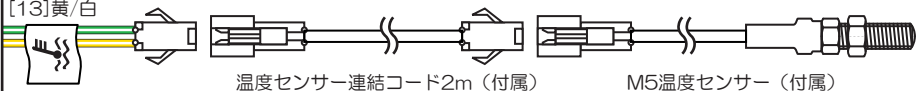
[12] 緑/白：温度センサー入力

[13] 黄/白



O2センサー入力コネクタと似ていますので、ご注意ください。

配線に白い線が入っている方が温度センサー用です。



ネジ径: M5
ピッチ: 0.8
長さ: 15mm

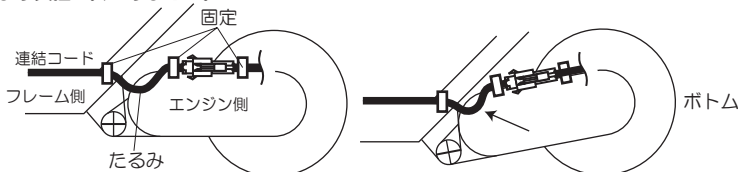
温度センサー連結コード2m（付属）

M5温度センサー（付属）

稼働部配線についてのアドバイス

温度センサー連結コード、O2センサー連結コード共通内容

走行によりエンジンは大きく上下に傾きます。上下幅をよく確認し、十分な余裕（たるみ）を持たせて下さい。また、この動きによってコネクタ部分やセンサー根元に負担が掛からないように配線を数箇所固定する必要があります。図の様に「たるみ」の両サイドをそれぞれ固定する事によりエンジンが動いた時、「たるみ」部分の配線が曲がるだけで、コネクタ部にはあまり負担が掛かりません。



⑤-8 O2センサーの入力 次ページに続く

空燃比計測を行うには、別途O2センサー及び、センサー取り付けボス付きのエキゾーストパイプが必要です。

配線時は必要に応じ外装を取り外して下さい。詳しい取り外し方法は、メーカー発行のアドレスV125サービスマニュアルでご確認頂けます。

●別売部品

- ・O2センサー単品 品番：00-05-0002
- ・センサー取付けボス（SUS303/M18×P1.5）品番：07-04-0022 溶接取付けが必要です。
- ・V125用ポンパーマフラー（センサー取付けボス付き）

Oすでお持ちのA/Fメーターのセンサーを流用される場合、コネクタ形状が異なる場合があります。

旧製品 07-04-0020（2007年5月辺りまで出荷）のセンサーは、現行品とコネクタの形状が異なります。現行品のコネクタはAMP刻印と黄色のラバーパッキングが目印です。信号規格は同じですので、旧型のセンサーでもコネクタを切り落としギボシ等で接続すれば使用可能です。連結コード黄〈接続〉センサー黒、連結コード緑〈接続〉センサー白

●オプションパーツ

- ・O2センサーブラインドプラグ 品番：07-04-0023

センサーを外した際にご使用します。真鍮製/M18×P1.5 シーリングワッシャー1枚付き



O2センサー連結コード、O2センサーを接続

ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。

前記「⑤-7」項内「稼働部配線についてのアドバイス」も参照下さい。

メーターメインハーネス

[14] 緑：O2センサー入力

[15] 黄



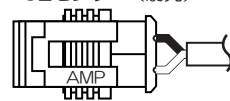
温度センサー入力コネクタと似ていますので、ご注意ください。

配線に白い線が入っていない方がO2センサー用です。



O2センサー連結コード（付属）

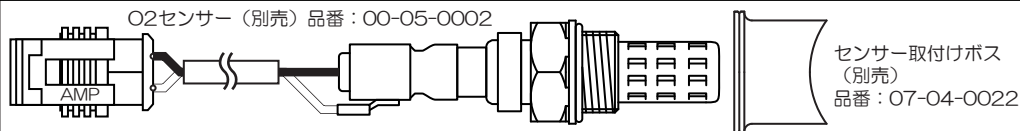
O2センサー（別売）



センサー取付けボスについて下記「ボス溶接時の注意点」を参照下さい。

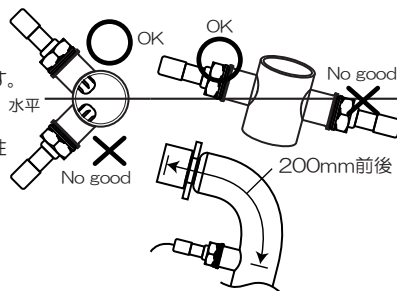
センサーの締め付けトルクは40N・m(4.0kg・m)です。エンジン振動により緩んでいないか必ず定期的に点検して下さい。
センサーのネジ部に付属の焼付防止剤を塗布して下さい。再組み付け時は市販の焼付防止剤を塗布して下さい。

当社製品はアルミシヤル(焼付防止ベースト)5g 品番：00-01-0001



ボス溶接時の注意点

- エキゾーストパイプに開ける穴径は13mm以上必要です。
- センサー取付け角度注意
センサーボスは地面に対して水平より上の角度から取り付けて下さい。
下に付けると、パイプ内に生じた結露がセンサー部に溜まり損傷を与えます。
- センサー取り付け位置
付属のセンサーは作動温度が400℃以上です。
取り付け位置がポート出口より離れすぎると作動温度に達せなくなる可能性があります。
- ・推奨の取り付け位置はポート出口より200mm前後になります。
- ・パイプ曲げ位置等によりこの位置に溶接が難しい場合、あまり遠くならないようにして下さい。



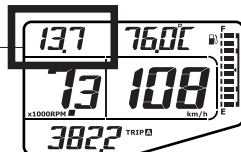
当社製や他社製に関わらず取付け加工について当社ではお受け出来ません。
取り付け作業可能なカスタムショップへお客様へご依頼下さい。

空燃比表示とセンサーの特性

O2センサーを接続すると、液晶画面左上に空燃比を表示します。(未接続時は空白)表示が出ない場合、正しく接続出来ていないかセンサーが破損している可能性があります。

- センサーは排気の熱によって作動温度に達し、温度が低い時は機能しません。作動温度400℃以上
- 始動時はセンサー作動温度に達していない為、L表示(燃料薄い)で始まり、センサー温度が上がるにつれて17.2から数値が下がり始めます。作動温度まで達すると数値の下がり方が止まり、上下し始めます。
※センサー温度により算出される数値が多少ですが前後します。
- センサーは強い衝撃を与えると破損してしまいます。落下にご注意下さい。

- 表示：表示数値は排気ガス中の未燃ガス濃度の比率を表しています。
その為、セッティングの濃い薄いに対して表示数値は一見反対ですのでご注意ください。



数値が下がる＝濃くなる 数値が上がる＝薄くなる

- ・燃料が濃くなれば数字は小さくなります。反対に燃料が薄くなれば数字は大きくなります。
 - ・燃料がとても濃く空燃比12.2以下の場合、表示はR(リッチ: rich)となります。
 - ・燃料がとても薄く空燃比17.2以上の場合、表示は空白(リーン: lean)となります。
- ※アクセルを戻し時(エンジンブレーキ時)は混合気が薄くなる為、数値は上がります。

本製品はあくまでセッティングの一部を補助するメーターとお考え下さい。

お客様の使用条件やバイク、部品の個体差や状態により最適なセッティングが異なる為、セッティングにつきまして弊社にご質問頂いても詳しくお答えする事が出来ない場合があります。

一般に空気とガソリンの重量比14.7:1(表示14.7)が理想空燃比とされていますが、チューニングやエンジンの種類で最適な空燃比は全く異なります。燃料が濃過ぎる場合はプラグが燃料で汚れたり、燃焼室にカーボンが付着します。逆に薄い場合はパワーダウンしたり、希薄燃焼によりデトネーション発生の可能性がありますのでご注意ください。

- ・当社製V125用FIコントローラー出荷時のプリセットデータは当社テスト車輛において空燃比が13.2:1～13.8:1あたになるように調整しております。
- ・約4500rpmあたりでゆっくりとアクセルを開けて行った場合、空燃比が急激に上下しますが、これはV125のノーマル時からの特性ですので、異常ではありません。

メーター起動

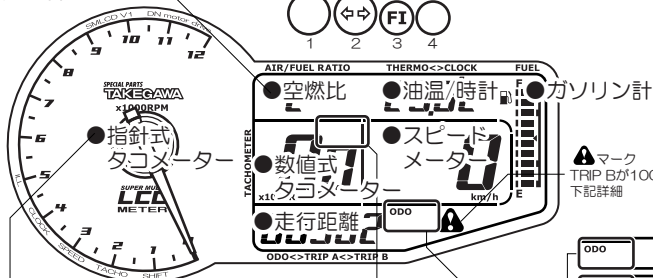
メインキーをONにすると指針が一度振り切り、液晶には数字の“8”が並んだ後、“r数値”表示し、前回OFFにした時のモードで起動します。“r数値”の数値部は識別値の為、個体により異なります。キーONが一瞬でも一旦起動します。

1. レブインジケーター/赤 指定回転数に達すると高輝度赤LEDが点灯
2. ターンインジケーター/緑 純正メーターと同様に点灯
3. FI警告灯/赤 純正メーターと同様に点灯
4. アラームランプ/赤 純正メーターと同様に点灯（Gタイプのみ使用）

●4連インジケーター



空燃比は別売のO2センサー接続時のみ表示します。



※指針式タコメーターについて。モーターと複数のギアにより指針軸を駆動しています。構造上、回転域により若干のずれ（約4度以下≒200rpm）があります。

マーク
TRIP Bが1000km毎に点灯
下記詳細

ODO	オドモード
TRIP A	トリップAモード
TRIP B	トリップBモード
MAX	MAXモード

オド/トリップA/トリップBモード

スピードメーター	～360km/h	ノーマルのメーターケーブルを使用
オドメーター	～99999km（1km単位）	消去不可能
トリップメーターA	～999.9km（100m単位）	スタートスイッチを3秒長押しで消去
トリップメーターB	～9999.9km（100m単位）	スタートスイッチを3秒長押しで消去

表示距離1000kmごとに画面右下に マークを表示します。マークは1回のキーOFFで消えます。オイル交換の目安としてご利用下さい。

指針式タコメーター	～12000rpm	耐震性、正確性に優れたDNモーター駆動	関連 ⑤-6
数値式タコメーター	～12.0（x1000rpm）	一瞬の回転数認識に優れたデジタル数値式	
レブインジケーター/赤	4000～12000rpm任意	指定回転数に達すると高輝度赤LEDが点灯	関連 ⑤-7
油温計	～120℃	オドモード、トリップBモード時に表示	
空燃比計	12.2～17.2（A/F）	O2センサー未接続時は表示無し（空白）	関連 ⑤-8
ガソリン計	100Ωタイプ	10ステップ表示	
時計	24時間表示	トリップAモード時に表示	
純正インジケーター	3種	ターン/緑、FI警告灯/赤、アラーム/赤（Gタイプ用）	

MAXモード

セルモータースタートスイッチを3秒長押しで記録消去

最高速度記録	自動で最高速度を記録
最高回転数記録	自動で最高回転数を記録
最高温度記録	自動で最高温度を記録

ADJモード

オドモードでスタートスイッチを3秒以上長押しでADJモードに入ります

1. レブインジケーター調整	4000～12000rpm	レブインジケーター発光回転数設定
2. 発火回数調整	0.5発火、1～6発火	クランクシャフト1回転あたりの発火回数設定 標準：1
3. 速度誤差補正4. 時計調整	50%～210%（1%単位）	速度表示の[ズレ]を補正。関連 ⑥-3
5. バックライト調整	0：00～23：59	4.0：時単位、4.5：分単位
	1～5	ホワイトLED輝度の調整 最高輝度：5

スイッチ操作

メーターのすべての操作について純正スイッチを利用する新発想構造です。日常的な操作ではセルモータースタートスイッチだけをを使い、機能の調整を行う時にブレーキスイッチを使います。

セルモータースタートスイッチ



1回押す（短押し）
・モード/ページ送り



3秒以上押す（長押し）
・記録消去など

ブレーキレバースイッチ※ （フロント用、リア用同じ）



短く握ると数字が
1つ増える
長く握ると早送り

※Gタイプ車でサイドスタンドを出している時は反応しません。



操作時、セルモータースタートスイッチとブレーキスイッチを同時にONしないで下さい。
セルモーターが回ってしまいます。

オドモード



オドメーター
0~99999km
単位：1km

[油温/時計]：油温優先
温度センサー未接続時は時計表示

次へ



トリップAモード



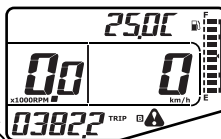
トリップメーターA
0~999.9km
単位：100m

[油温/時計]：時計優先

次へ



トリップBモード



トリップメーターB
0~9999.9km
単位：100m

オイル管理用長距離タイプ
[油温/時計]：油温優先
温度センサー未接続時は時計表示

次へ



MAXモード



速度、回転数、油温
各最高値を表示
速度：~360km/h
回転数：~12000rpm
油温：~120℃

次へ



オドモードに戻る

ADJモード

1. レイインジケータ調整

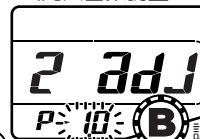


レイインジケータ（赤）を発光させるエンジン回転数
4000~12000rpm
100rpm単位

次へ



2. 発火回数調整

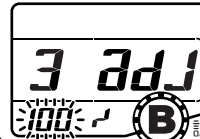


クランクシャフト
1回転あたりの発火回数
0.5、1~6
標準値：1.0
"0.5"は2回転1発火を表しています。

次へ



3. 速度誤差補正



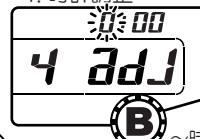
タイヤサイズ変更
時用の補正值

50~210%
1%単位
標準値：100%
JIS換算100%≠
タイヤ周長128.5cm
⑥-3に詳細

次へ



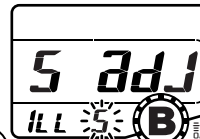
4. 時計調整



次へ



5. バックライト調整



ホワイトLEDバックライトの5段階
輝度調整
1~5
最高輝度：5

次へ



オドモードに戻る

速度補正值(%)の調べ方

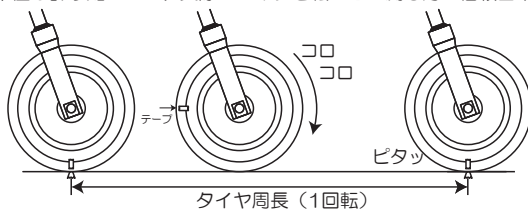
タイヤの銘柄やサイズを変更し、外周が変わった場合の補正值の求め方を説明します。

ノーマルのホイール、タイヤを使用している場合は基本的に設定値100%のままで大きな速度補正の必要はありません。

●改造タイヤの周長を測定して下さい。

テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを転がしてその距離を測るか、直径を測り算出して下さい。

[アドバイス]直径や半径は計り難いので、実際にバイクを転がせて測る方が信頼出来ると思われます。



●標準値128.6cmと改造タイヤ周長を比較します。

メーターはJIS規格に基き速度換算しています。これをタイヤ周長に置き換えると適合タイヤ周長は128.6cmとなります。

例えば改造タイヤ周長が135cmの場合、 $135\text{cm} \div 128.6\text{cm} \times 100 = 105\%$ 105%が補正值となります。

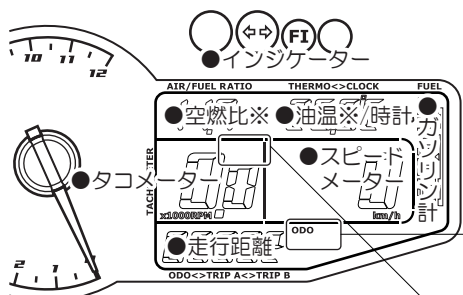
$$\text{改造タイヤ周長cm} \div 128.6\text{cm} \times 100 = \boxed{\text{補正值(\%)}}$$

[MEMO]

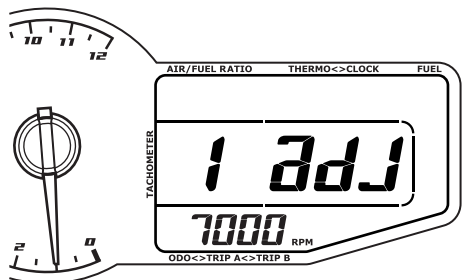
JIS規格[速度60km/hの時、ケーブル回転数1400rpm]これから換算すると、ケーブル1回転あたりに車両の進む距離は $\approx 71.43\text{cm}$ と決まっています。V125のメーターギアが・アクスルシャフト側ギア18T・ワイヤー軸側ギア10Tで、 $18\text{T} \div 10\text{T} = \text{ギア比}1.8$
ギア比 $1.8 \times 71.43\text{cm} = \text{適合タイヤ周長}128.6\text{cm}$

日常的な操作ではセルモータースタートスイッチだけを使い、機能の調整を行う時にブレーキスイッチを使います。

詳細は ⑥-1 ⑥-2



※空燃比は別売のO2センサー接続時のみ表示します。
※温度センサー未接続時は油温切り替え出来ません。



操作時、セルモータースタートスイッチとブレーキスイッチを同時にONしないで下さい。
セルモーターが回ってしまいます。

日常的な操作範囲



1回押す
(短押し)

モード切り替え



3秒以上押す
(長押し)

消去など



ODO

オドモード
(油温優先)



TRIP A

トリップAモード
(時計表示)



TRIP B

トリップBモード
(油温優先)



MAX

MAXモード

ADJモードへ

←走行距離消去

←走行距離消去

←最高記録消去

各種設定の調整 (ADJモード)

セルモーター
スタートスイッチ



1回押す
(短押し)

ページ送り



短く握ると数字が
1つ増える
長く握ると早送り

数値調整



1

レフインジケーター

←調整 4000~12000rpm



2

発火回数

←調整 0.5、1~6回
標準値: 1



3

速度誤差

←調整 50~210%
標準値: 100



4

時計

←調整 00:00~23:59



5

バックライト

←調整 1~5

最高輝度: 5

オドモードに戻る

モード名称	[走行距離]	記録範囲	[油温/時計]	[スピード]	[タコ]	⑥ 3秒長押し
オドモード	ODO オドメーター	~99999km	油温優先	現在速度	現在回転数	ADJモードへ
トリップAモード	TRIP A トリップメーターA	~999.9km	時計優先	//	//	TRIP A消去
トリップBモード	TRIP B トリップメーターB	~9999.9km	油温優先	//	//	TRIP B消去
MAXモード	空白		最高温度	最高速度	最高回転数	最高記録消去